

# 松本基志 県政報告

群馬県議会議員

令和8年 新春号

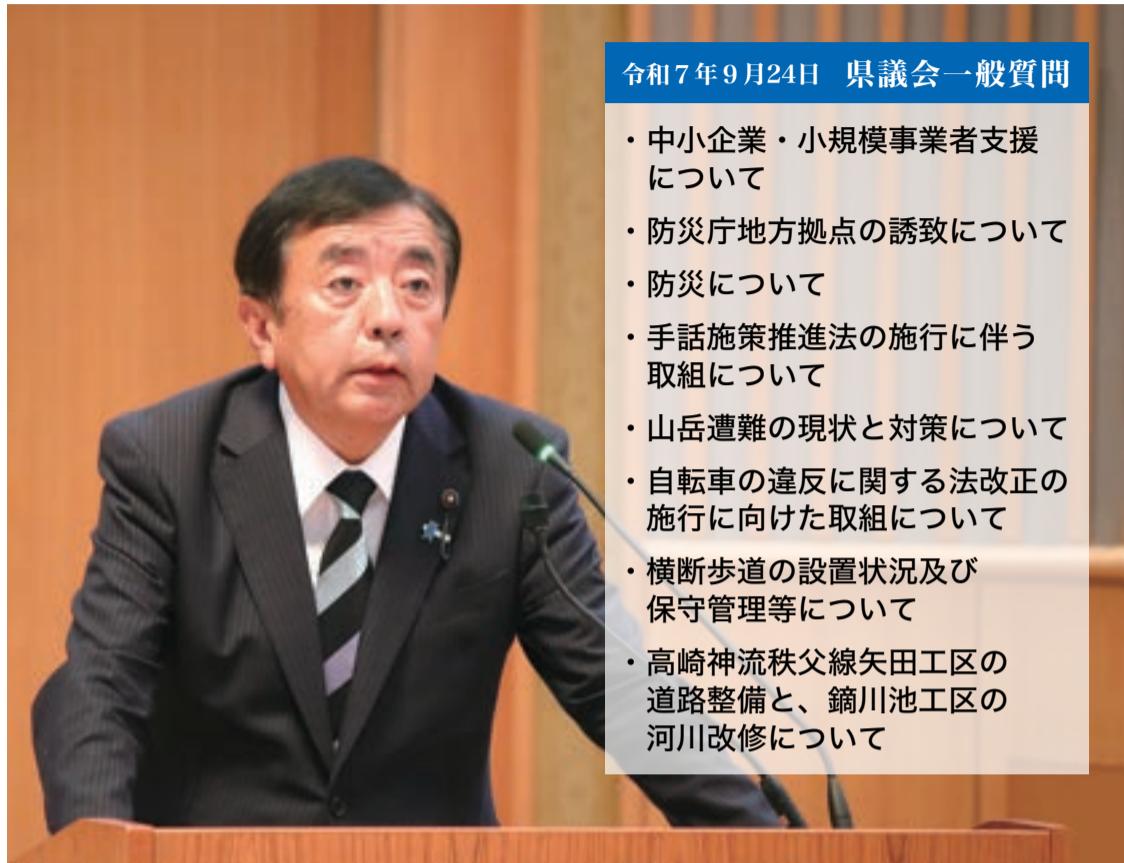
松本基志事務所

〒370-0861 高崎市八千代町1-17-8

TEL 027(325)1727

FAX 027(321)7523

## 県議会一般質問 県民の安心安全のために



令和7年9月24日 県議会一般質問

- ・中小企業・小規模事業者支援について
- ・防災庁地方拠点の誘致について
- ・防災について
- ・手話施策推進法の施行に伴う取組について
- ・山岳遭難の現状と対策について
- ・自転車の違反に関する法改正の施行に向けた取組について
- ・横断歩道の設置状況及び保守管理等について
- ・高崎神流秩父線矢田工区の道路整備と、錦川池工区の河川改修について

9月24日開催された令和7年第3回定例県議会本会議で、一般質問を行いました。まず、米国関税に対する本県の受け止めと、その対策としての中小企業支援策を取り上げ、その後、ライフケースとしてきた防災対策、さらには国で進めている防災庁の地方拠点誘致について議論しました。続いて、自転車交通事故対策や横断歩道の保守管理、手話施策の取組み、山岳遭難対策、河川の堤防整備など、幅広く、県民の安心・安全ための施策を取り上げました。

また、令和7年度は、文教警察常任委員会委員長、防災減災治安に関する特別委員会副委員長に就任し、委員会での質疑や現地での調査などを進めています。そこで、日頃からの活動と合わせてご報告いたします。

群馬県議会議員  
文教警察常任委員長

## 松本もとし

松本 知事は、9月補正予算案は、喫緊の課題に即応する「米国関税十物価高騰十猛暑対策予算」としています。さらに、米国関税に対する影響を調査するため県内企業にアンケートを実施したと伺っています。米国関税措置に対する群馬県の受け止めと、その対策について、お伺いします。

知事 本県は、自動車関連産業が多数集積しており、関税措置による影響を受ける地域と認識しています。県内企業に対する影響調査においても、今後の影響を懸念する声が多いので、予断を許さない状況だと捉えています。

対策として、短期的には、制度融資枠を拡大します。中長期的には、新しい販路開拓・新分野への参入に挑戦する企業や農畜産物の多角化に取組む生産者の支援を行ってまいります。

松本 全国で、大規模な自然災害が頻発しており、政府では、防災体制の強化策として、「防災庁の設置」について検討が進められています。さらに、予定される防災庁の地方拠点について、本県は、東京からのアクセスの良さや自然災害の少なさなど、設置場所として最適だと考えます。防災庁地方拠点の誘致について、本県は、東京からのアクセスの良さや自然災害の少なさなど、設置場所として最適だと考えます。防災庁地方拠点の誘致についてお伺いします。

危機管理監 全国で、防災立国を目指し、その司令塔として、県政においては、レジリエンスNo.1を掲げて、本県が首都圏のバックアップ拠点になるべく県土の強靭化や、企業の本社機能の誘致を進めてきました。松本 地方拠点の誘致について、首都圏のバックアップ機能の向上や、本県の防災減災対策・県民の防災意識の向上、雇用の創出や関連産業の波及する支援についてお伺いします。

米国関税措置について

産業経済部長

米国関税措置の影響を受ける事業者の資金繰り対策として、信用保証料

松本 締め切りで半額補助する制度融資を新設しました。米国関税措置の本格的な影響や年末の

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、地域防災アドバイサーに登録しています。昨年は、この講座の申込者が多く、受講できない方がいたので、一般質問で、定員の増加を要望しました。本年の申込込み状況についてお伺いします。

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、すべての市町村で、計画作成に着手していますが、作成率は10・4%と、全国と比較すると低い状況です。今年度は、作成率の低い市町村を訪問して、防災部門と福祉部門との役割分担や、地域に応じた資源の活用方法について、助言を行ってまいります。

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、すべての市町村で、計画作成に着手していますが、作成率は10・4%と、全国と比較すると低い状況です。今年度は、作成率の低い市町村を訪問して、防災部門と福祉部門との役割分担や、地域に応じた資源の活用方法について、助言を行ってまいります。

松本 願いします。

地域防災アドバイサー

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、地域防災アドバイサーに登録しています。昨年は、この講座の申込者が多く、受講できない方がいたので、一般質問で、定員の増加を要望しました。本年の申込込み状況についてお伺いします。

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、すべての市町村で、計画作成に着手していますが、作成率は10・4%と、全国と比較すると低い状況です。今年度は、作成率の低い市町村を訪問して、防災部門と福祉部門との役割分担や、地域に応じた資源の活用方法について、助言を行ってまいります。

松本 防災で重要なのは、地域防災力の向上です。本県では、すべての市町村で、計画作成に着手していますが、作成率は10・4%と、全国と比較すると低い状況です。今年度は、作成率の低い市町村を訪問して、防災部門と福祉部門との役割分担や、地域に応じた資源の活用方法について、助言を行ってまいります。

手話施策への取り組み

松本 本年6月、手話施策推進法が施行され、手話の普及等に関わる環境の整備等は、国や自治体の責務と明記されました。本県でもより一層の取り組みを進めていく必要があると思いますが、取り組みについてお伺いします。

危機管理監

県内では、1,0

松本 今年度、手話施策推進法が施行され、手話の普及等に関わる環境の整備等は、国や自治体の責務と明記されました。本県でもより一層の取り組みを進めていく必要があると思いますが、取り組みについてお伺いします。

松本 本年6月、手話施策推進法が施行され、手話の普及等に関わる環境の整備等は、国や自治体の責務と明記されました。本県でもより一層の取り組みを進めていく必要があると思いますが、取り組みについてお伺いします。

松本 本年6月、手話施策推進法が施行され、手話の普及等に関わる環境の整備等は、国や自治体の責務と明記されました。本県でもより一層の取り組みを進めて

# 北朝鮮拉致被害者救出活動

# 拉致被害者を家族のもとへ 拉致被害者の即時一括帰国を

令和7年12月6日、群馬会館（前橋市）で、政府主催による「拉致問題を考える国民の集い in 群馬」が、開催されました。私は、北朝鮮拉致問題解決促進議員連盟幹事長として参加しました。

拉致被害者である横田めぐみさんの弟、横田拓也 拉致被害者家族会会長は、「我がこととして考えて欲しい。自由な国で、何でもできる私達が何もしないのは罪深いので

はないか。親世代で生き残っているのは、母の早紀江だけ私は絶対に諦めない。空港のタラップからめぐみが降りてきて母と抱き合う瞬間が来るまで戦い続けます。全拉致被害者を取り戻すまでこの問題に向き合つていきます。皆さんのご理解とご支援をお願いします」と訴えました。会場からは時折すすり泣く声が聞こえていました。

A woman in a white jacket and patterned skirt is looking down at a small device, possibly a smartphone, while a man in a dark coat stands next to her. They are in an indoor setting with other people in the background.

「災害大国日本におけるこれらの防災・防災庁の果たすべき役割について」に参加しました。このセッションの主催は、内閣官房防災庁設置準備室で、冒頭、防災室設置の現状と課題について説明があり、その後、「防災庁設置準備アドバイサー会議」のメンバー6名によるパネルディスカッションが行われました。各専門家からは、防災DX、防災教育、避難所の課題、災

一人取り残さない防災」をえるものでした。私は、県議会で、遠隔手話通訳サービスについて、質問を行つてきましたが、改めて、その重要性を認識しました。

また、ブース展示では、防災DXの推進、ドローンの活用、防災教育、BCP、災害体験VR、避難所、備蓄などを拝見し、大変有意義な視察となりました。

政府が主催した、「ぼうさい  
こくたい2025 in新潟」に  
参加しました。これは、産・  
官・学・民の関係者が、日頃

る? ICTと遠隔手話通訳の実践——自治体ができる、るる者・避難者への情報提供「前線」というセッションにな

## 参最うの 所管する施設 鑑識科学センター

## の視察を行いました

# ぼうせんじたい 2025

文教警察常任委員会で9月12日、所管する施設の視察を行いました



# 群馬県議会議員 松本もとし

県議会では、若者の政治への関心を高める取組みとして、県議会第3回定例会中の9月24日に「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催し、県内5大学から、21人の学生に参加していただきました。大学生は、本会議で、一般質問を傍聴した後、グループに分かれて各議員と意見交換をしました。当日は、私も一般質問に登壇した後、学生と県政について語り合いました。参加した大学生の皆さんからは、県政を身近に感じられた



# 学生と政治について語る

防災教育、避難所の課題、災害医療などについて触れられ、防災庁の役割や期待、産官学連携・情報の共有の重要性、司令塔機能の強化が語られました。



沼田高校

旧沼田高校と旧沼田女子高校が、統合されて誕生した新沼田高校が、令和7年4月1日に開校しました。「高く理想を掲げ、主体的に真理を探求する精神を養い、多様な視点を持つて新たな時代を切り開いていく為の素養・能力を育成する」事を教育目標とし、図書館を核としたＩＣＴ機器を備えたメディアラーニングセンターなどの整備を行っています。視察では、校長先生をはじめとする教職員の皆さん、さらには、生徒の皆さんのお話を伺うとともに、新しい施設を見学しました。

折しも、教育委員会では、社会の変化や生徒数の減少、生徒の多様化など高校を取り巻く環境の変化に対応するための、県立高校のあり方にに関する情報交換会を県内各地地区



で始めている所であり、今後  
の県立高校のあり方を考える  
上で、有意義な機会となりま  
した。